

まんのう町教育委員会だより

# 爽そうふう風

Vol. 35

令和5年【2023】  
2月1日 発行

子どもの健やかな成長を願って



## 特集 学校行事の新しい形

### Contents

P.6～7 園・学校ウォッチング  
琴南小学校・琴南こども園

P.8 ホットニュース  
P.9 シリーズ「声」

P.10～11 子ども美術館

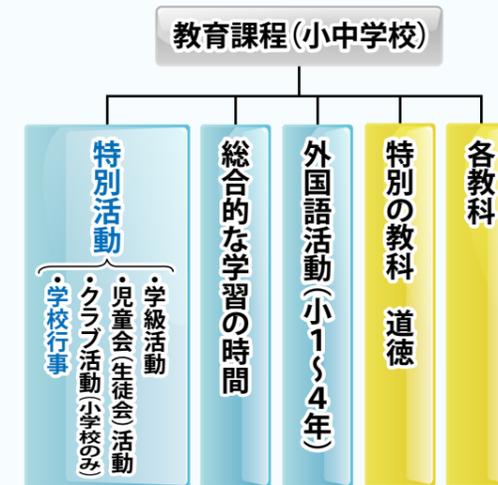


# 学校行事の新しい形

集団活動を基本とする学校行事は、新型コロナの流行により大きな打撃を受けました。中止や延期になったもの、そして、規模を縮小することで何とか実施できたものも…。

長く子どもたちの思い出に残る学校行事。だからこそ、コロナ禍であっても何とか実施したい…そう考える小中学校で、今、様々な工夫がなされています。

学校行事は、左の図のように、特別活動の二つとして位置づけられています。



## なすことによって学ぶ特別活動

特別活動は、教育課程のなかでも、とりわけ子どもたちの社会性の育成に大きくかかわる領域であり、その活動は学級だけでなく様々な構成された集団によって行われます。「なすこと」によって学ぶことが原則である特別活動の中で、子どもたちは、よりよい自分や学級・学校生活、人間関係をつくる活動に自主的、実践的に取り組んでいます。これらの活動を通して、人とかかわり方や意思決定の仕方を学び、集団での所属感や連帯感を深め、社会の中で、人とともに、よりよく生きる力を獲得していくのです。

## 5つの内容からなる学校行事

特別活動の一つである学校行事は、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展をめざすものであり、学校や学年など、大きな集団で協力して活動します。内容によって、大きく次の5つに分けられています。

- ① 儀式的行事
- ② 文化的行事
- ③ 健康安全・体育的行事
- ④ 遠足・集団宿泊的行事
- ⑤ 勤労生産・奉仕的行事

## コロナ禍での学校行事

新型コロナウイルス流行前は、そうするのが当たり前と考えて、疑問を持つことなく毎年実施してきた様々な学校行事。感染の危険性と向き合わなければならなくなった厳しい状況下で、先生方や子どもたちは、学校行事実現のために様々な工夫をしました。

次のページでは、感染予防のために取り入れた工夫の数々、そして、苦労したからこそ見えてきたコロナ禍ならではの成果についても紹介します。



### ⑤ 勤労生産・奉仕的行事

人の役に立つ喜びを知る

大掃除・飼育栽培活動・地域清掃活動など



### ④ 遠足・集団宿泊的行事

互いを思いやり、協力し合うことの大切さを知る

遠足・宿泊学習・修学旅行など



### ③ 健康安全・体育的行事

健康な心と体、安全な生活をつくる

運動会・縄跳び大会・避難訓練・健康診断など



### ② 文化的行事

文化や芸術に親しみ豊かに生活する

学習発表会(小学校)・奏風祭(中学校)など



### ① 儀式的行事

清らかな気持ちを味わい生活に折り返しをつける

入学式・卒業式・始業式・終業式など

参考：特別活動 指導資料【小学校編・中学校編】(国立教育政策研究所 教育課程研究センター)



1年生と6年生は  
直接手をつながらず  
に入場

### 入学式



国歌・校歌は  
声を出して  
歌わない

感謝の気持ちを  
こめて、卒業生を教室  
で見守りました

式の時間が短くなっ  
たのが、よかった



### 卒業式

参列する人数を  
制限

下級生のお祝いは、  
スクリーンの中から

みんなでお祝いでいる日が  
早く来るといいな



下級生は教室で  
卒業式を見守る



感染予防しながら実施するため

## こんな工夫

をしました

※ここに紹介した工夫は、すべての学校に当てはまるものではありません。実施時期や児童・生徒の感染状況によって、各校の取り組みには違いがあります。



友達との間隔に  
気をつけて

### 宿泊学習 遠足

宿泊をやめてデイキャンプ  
にした学校や、野外炊事  
を取りやめた学校も…

みんなで協力して  
感染に気をつけたよ



おかずやおやつ  
を交換しない

県外から  
多くの人がある  
見学地は避ける

バスの増便料金や  
コロナ保険など、町教育委員会  
の支援があって、安心でした!

決行が延期か、  
決断のタイミングが  
難しかったな

とにかく、行けてよかつた。  
感謝の気持ちで  
いっぱいです



### 修学旅行



バスの中では  
ゲームなどをせずに  
静かに過ごしたよ

バスの台数を  
増やし、間隔  
をあけて座る

食事は、できるだけ  
ビュッフェ形式を  
避けて

ホテルは、  
ひと部屋の人数を  
少なく

練習時間は少なか  
ったけど、いい発表  
ができたよ



自分の子ども以外の  
学年の演技も  
見たかったです



### 運動会



種目を厳選して  
時間を短縮

バザーを中止。  
事前申込制にし  
た学校も…

おいちゃんや  
おばあちゃんにも  
見てもらえると  
よかったな



バザーがなく  
て残念だった



流行し始めた頃に比べると、  
たくさんの行事が、形を変えつつ  
戻ってきています



## コロナ禍の苦労の中で こんな成果

がありました



- ◆ 録画という新しい発表の形が生まれた。
- ◆ 内容を短縮したことで練習時間が減り、その分授業時間が増え、落ち着いた学習に取り組むことができた。
- ◆ 様々な制限は先生方や子どもたちの工夫を生み、創造的な取り組みにつながった。
- ◆ PTA本部役員がアイデアを出し合ってスムーズな運営に協力してくれるなど、PTAとの協力体制が強固になった。
- ◆ 感染に気を付けながら協力して取り組むことで、子どもたちの仲間意識が高まった。
- ◆ 何とか行事を実現させようとする先生方の苦労を目の当たりにして、子どもたちに感謝の気持ちが芽生えた。



プログラムを分けて、  
密にならないように

朝の時間を活用  
して学年ごとに保護者を  
招待し、発表会をする  
ことができました



### 学習発表会 奏風祭



練習時間は少なか  
ったけど、いい発表  
ができたよ

学年ごとに開催  
した学校も…

入れ替え制など  
により保護者の人数  
を制限

入場行進や  
ラジオ体操を  
なくした



### 運動会

琴南小学校では、「ふるさとを愛し 学び合い 認め合い 鍛え合う子ども」の育成をめざして、地域を大切にしている心や、自主的・主体的に学習に取り組んだり学校生活をよくするために活動に励もうとしたりする心を大切にしています。

学習のめあてをしっかりとつくり、学び合う授業づくり

本校では、子どもたちが「これまでに学んだ方法を工夫して使えば考えられそうだ」「生活とつながっている勉強だ」「など、考えてみたい」という学習意欲が高まるような授業づくりを心がけています。またそれにより、自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聴いて新たな考えを見つけようとするなど、積極的に学び合う子どもを育てようとしています。

4年生の国語科では、登場人物になりきって気持ちの変化を日記に書くという学習に取り組みしました。子どもたちは、これまでの学びをもとに、文章の中の言葉を手がかりにして気持ちの変化を考えました。そして、考えた気持ちを友達と伝え合い、登場人物の気持ちの変化を日記に書きました。



6年「照明でもでんぶんができるかな」



4年「グループで考えを交流する」

成に関係することを学んだ子どもたちは、「照明の光ではどうなるのかな」という教師の問いかけにより積極的に実験に取り組みとともに、他のグループの結果も踏まえて考えをまとめました。そして授業の最後に、工場で照明を使って野菜が栽培されていることを知り、この学習が生活につながっていることをつかんだようです。

ふるさとを愛し 学び合い 認め合い 鍛え合う子どもに  
琴南小学校



「フレンジャー」登場!



「思いやり戦隊フレンジャー」香川県教委イメージキャラクター

互いに認め合い、仲よく過ごせる学校づくり

本校は、児童数が50人、一学年一学級ずつの小規模校で、子どもたちは、こども園から気心の知れた友達と学校生活を送っています。そのため、友達の新たなよさを見つけて、互いに認め合うことを継続していくことが、より必要になります。そこで、本校では、各学級前の廊下などに書いたカードを掲示する「キラキラボード」を設けています。このボードを12月初旬に体育館で開催した「なかよし集会」に持ち寄りしました。そして、全校児童が学年の枠を越えて、互いにメッセージを届け合いました。

また、「なかよし週間」には、「フレンジャー」というキャラクターに扮した児童会役員が中心となり、全校児童が仲良く遊ぶイベントを実施しました。このような活動を通して、学級内、そして、学校全体が笑顔に包まれ、琴南小は一つの仲間という意識が高まっています。

琴南こども園では、様々な人とのつながりを大切に、子どもたちが笑顔いっぱい園生活を送れるように考えながら、教育・保育に取り組んでいます。

プレイルームに集まって

琴南こども園には、中央にプレイルームがあり、子どもたちの共通の遊び場となっています。プレイルームで絵本を読んだり、好きな素材を使って製作したり、時には自分たちで作ったものを持ち寄って、カフェをオープンしたりします。その場所はホッと一息つけるつながりの場です。大きいクラスの子が小さいクラスの子に優しく声を掛けてあげたり、年下の子はお兄さん、お姉さんがしていることをじっと見て真似てみたり、様々なつながりが広がっています。異年齢の子だけでなく、職員同士のつながりの場でもあり、楽しそうな笑い声が聞こえてきます。



プレイルームでハロウィン



一緒に読もうよ

笑顔がいっぱいの園に  
～様々な人とつながって～  
琴南こども園



何しているの?



何が流れてくるかな

コロナ禍でのお楽しみ会

昨年度から保護者がコロナ禍でも子どもたちが楽しめるように「お楽しみ会」を企画してくれています。今年度は7月に、園庭で楽しめることを考えて、水鉄砲で遊んだり、そとめん流し風のおもちゃを流しをしたりして楽しみました。おもちゃ流しは、竹を切って本格的な樋を準備して、子どもたちの笑顔あふれるお楽しみ会になりました。職員だけではできない様々な取り組みを保護者の力を借りながら進めています。子どもたちのために、と力を貸して下さる保護者の皆さんには感謝しています。

用務員さんと一緒に

年間を通していろいろな栽培活動をしています。その栽培活動に欠かせないのが用務員さん。各クラス担任が植え方や収穫時期などを相談します。園を訪れる人たちが「ここはいつも大豊作やな」と言ってくれるほど、たくさん野菜が育ちます。今は大根や白菜が大きく育ち、調理員さんをお願いして給食の材料にしてもらいます。ちよっぴり野菜の苦手な子でも園で採れた野菜だと不思議とパクパク食べられます。



優しく蒔いてね

ふるさとを愛するふたつへ

7月上旬、本校近隣の農家の協力により、1年生と6年生が、トウモロコシの収穫体験をしました。収穫前のトウモロコシを間近に見るのが初めてだった子どもも多く、大きく実ったトウモロコシを、夢中でもぎ取っていました。この体験を通して、改めて農作業の大変さを知るとともに、地域の方の琴南小を思う心に触れることができました。



トウモロコシの収穫体験

11月に、かしの実発表会(学習発表会)を開催しました。発表会の最後に、昨年度から、子どもたちや職員がじっくりと温めながらつくり上げたオリジナルソング「ふるさとことなみ」を映像で紹介しました。



「ふるさとことなみ」の紹介

この歌やこれからの学習を通して、ふるさとを大切にすることが高まるよう努力していきたいと思えます。

少しづつコロナ禍以前のような学校生活が戻りつつあります。そのようなか、素直で優しい子どもたちが、自分たちで考えて行動する場を増やし、達成感が味わえるようにしていきたいと考えています。ご支援をよろしくお願いたします。

楽しかった芋掘り

大根は毎年漬物にして食べます。漬物作りも用務員さんならではのできません。琴南こども園に引き継がれているクッキングの一つです。大切にしたいです。



お芋はどこ?



お芋がいっぱい

今年度も保護者や地域の方などたくさんの方の温かさを実感しています。これから子どもたちが笑顔で「楽しかった」「明日も来たい」と思えるよう、様々な人の力を借りながら職員も共に楽しんでいきたいと思えます。



# シリーズ『声』

## 第21回

### 行けてよかった！修学旅行

小・中学生にとって学校生活の大きな思い出となる修学旅行も、コロナ禍の中、感染症予防にしっかり努めての実施となりました。子どもたちの思いを大切に、心に残る修学旅行になるように努力した先生方がいます。そんな先生方の声を聞きました。

#### この45人だから得られた思い出

9月16日の夜、45人の6年生を乗せたバスが多くの保護者や先生方に見守られ、無事小学校に到着しました。これが、この修学旅行で一番私の心に残った瞬間です。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本当にみんなそろって修学旅行に行けるのか。子どもたちの思い出に残り、安全に活動を進めるために私たちにできることは他にないのか。何か月も前から悩みながら、何度も何度も職員で検討を続けていました。

2学期に入り、「キツザニア」についてゲーム会社の体験を絶対にしたい！「ホテルの部屋はどんな感じかな」と、期待に胸を膨らませつつ、ときには折り合いをつけながら友だちと計画を進めていく子どもたち。その姿を見て、制限がある中でもまだまだできることがありそうだと、私が活力をもらったことをよく覚えています。

そして、修学旅行当日の朝、体育館には45人全員の姿がありました。この当たり前のことが、どれほど、うれしかったことか。奈良公園で、鹿に追いかけて泣きそうになったり、ホテルの部屋の窓から美しい琵琶湖の景色を眺めたり、子どもたちは思い思いに修学旅行を楽しんでいました。また、余り時間を確認して班活動の計画を見直したり、渡す相手のことを考え悩みながらお土産を選んだりする姿を見て、子どもたちの成長を深く感じる事ができました。

この修学旅行を通して、子どもたちは友だちとのかけがえのない思い出だけでなく、自分たちで計画・実行する楽しさや味わい、自信を持つことができたと感じています。このメンバーで過ごすのも、あとわずかになりました。この45人だからこそ得られたものを中学校でも生かしていけるよう、私も共に努力していきたいと思えます。



四条小学校 教諭 石川 千紗

#### 子どもたちの成長を実感した修学旅行

教諭として4年目を迎えた今年、担任として2度目の修学旅行引率を経験しました。1度目は、コロナ禍の中、何とか子どもたちの思い出に込めたいと検討を重ね、現在中学2年生の子どもたちと小豆島へ行くことができました。私自身のけがにより、右足にギブスを巻いての引率だったため、ずっと忘れることはないであろう思い出となりました。そして2度目の今年度は、27人全員で京阪神方面に行くことができました。

今年度の6年生は、5年生の時に泊を伴う活動を経験していません。私の中には、子どもたちは旅行中に浮かれてしまうのではないかと不安が大きくなりました。一方子どもたちは、見学先について協力して調べたり、普段の会話にも修学旅行の話題がとも増えたりしており、楽しみにしていることがひしひしと伝わってきました。

実際に旅行に行くと、その不安はすくなくなくなりました。子どもたちが周りの様子をしっかりと見て状況を判断し、行動することができていたからです。それでも、1日目の夜に各班の班長が集まり、振り返りをする場面では、「○○で他の人に迷惑をかけたしまったと思う」という反省が、どの班長からも出てきました。それを生かして、2日目の見学先では、より周りに気を配り、友だち同士で声をかけ合ったり、それを素直に聞き入れたりして行動することができていました。子どもたちは、普段の学校生活でも、「周りに気を配り、考えて行動すること」を実践しており、それを修学旅行でも実践しようとする様子を見て私も大変うれしくなりました。



これからの学校生活でも、今回の修学旅行で学んだことを生かして、さらに成長してほしいと思います。そして、自分たちだけではなく下級生にも広がるように声掛けをしたり、行動したりしてほしいです。

長炭小学校 教諭 日野 隆規

#### ■ 郡市新人大会 (団体の部:優勝・準優勝)

部活名	性別	結果
剣道	男子	優勝
	女子	優勝
軟式野球		準優勝
バレーボール	男子	優勝
	女子	優勝
卓球	男子	優勝
	女子	優勝
ソフトテニス	男子	準優勝
サッカー		準優勝
柔道	男子	準優勝



#### ■ 県新人大会 (3位まで)

部活名	性別	結果
剣道	女子団体の部	準優勝
軟式野球		3位
ソフトテニス	男子団体の部	3位
水泳	男子200m平泳ぎ	準優勝
	男子100m平泳ぎ	準優勝

## 頑張っています！ 満中部活動

#### ■ 郡市新人大会 (個人の部: 3位まで)

部活名	性別	選手名	結果
剣道	男子	小塚 聖由	優勝
		松岡虎太郎	準優勝
		吉井 汐実	3位
	女子	小川 結衣	優勝
		尾崎 花凧	準優勝
柔道	男子 55kg級	小亀 陽音	準優勝
ソフトテニス	男子	三好 功祐	3位
		猪原由樹也	3位
		尾崎 司 溝口 拳梧	3位
卓球	男子 シングルス	中 柊太	優勝
		山神 俠吾	3位
	男子 ダブルス	竹本 励 平田 匠	準優勝
		女子 シングルス	藤保 花蓮
	女子 ダブルス	片山 瑠菜 那須 日和 田口 里香	3位 準優勝

※ 卓球は1月8日～9日、バレーボールは1月28日～29日に県新人大会があります。

## 学びの深まる秋



(1年 算数「かたちづくり」)



(6年 体育「ソフトバレーボール」)



(2年 算数「かけ算」)

11月30日  
長炭小学校で町教育委員会指定の  
研究発表会が開催されました

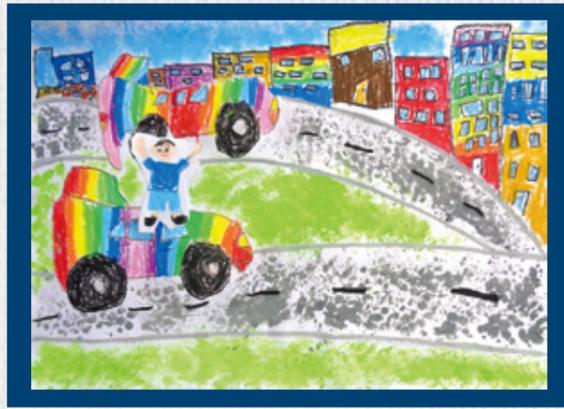
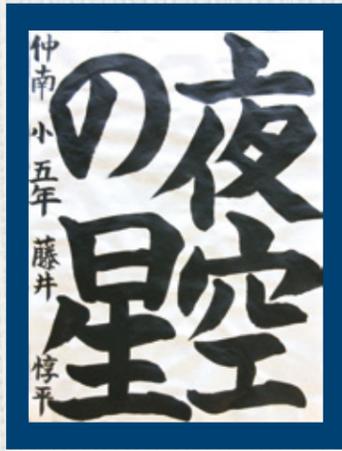


(3年 社会 話し合い)

5つの学年の授業が公開されました。授業後に、町内小・中学校・こども園の先生方が、授業から学んだことや改善すればよいことなどについて、熱心に話し合いました。



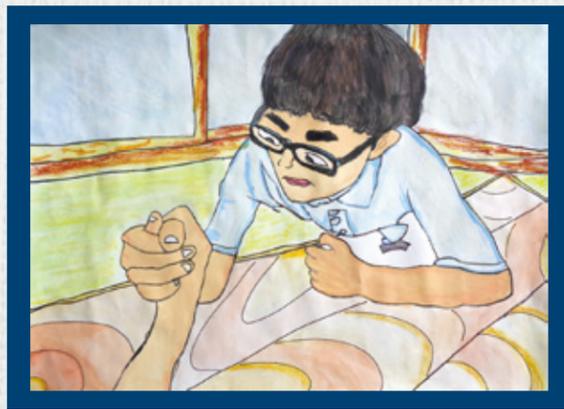
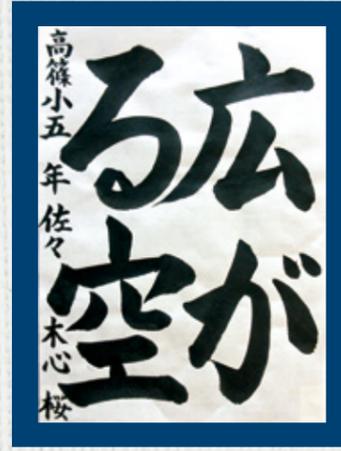
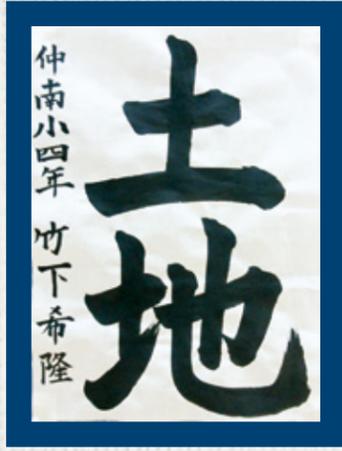
(4年 国語 話し合い)



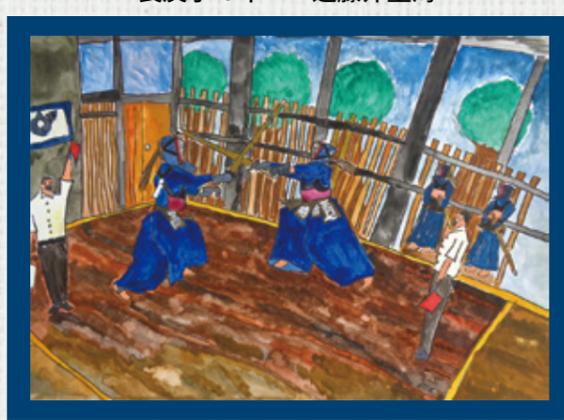
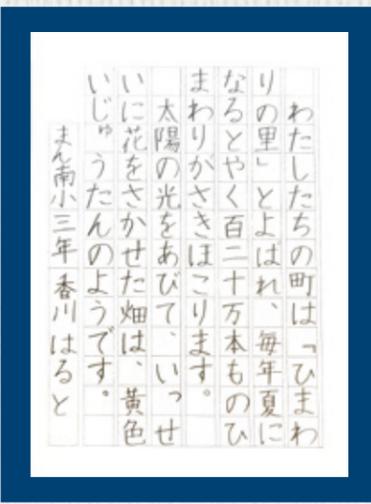
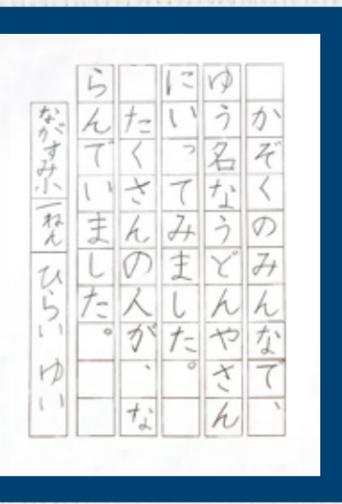
『にじいろのタワーにあそびにいこう!』  
高篠小1年 大久保 榮馬



『令和4年度香川県小・中学校総合文化祭展覧会』に、仲多度・善通寺地区の代表として出品された作品です  
(R5.1.13~1.15 高松市美術館)



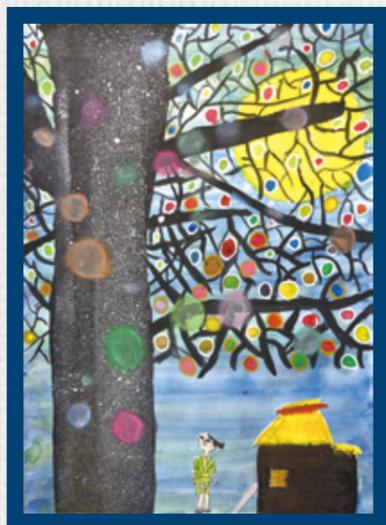
『腕相撲をするぼく』  
長炭小4年 近藤 邦皇海



『心に残った剣道の試合』  
仲南小5年 藤井 翔平



『かき氷みたいな入道雲』  
満濃中2年 川瀧 来夏



『モチモチの木』  
満濃南小3年 南部 優妃



『卓球選手』  
仲南小6年 川原 幸輝



『チョコ フォンデュ』  
満濃中2年 佐野 楓

令和4年度 香川県小・中学校総合文化祭(科学体験発表会・社会科研究発表会)

県科学体験発表会出場  
『自動販売機の力エルの数調べ』  
琴南小学校6年 宮地 明愛

県科学体験発表会出場  
『肥料の違いによる植物の成長』  
満濃中学校2年 近石明日香

県社会科研究発表会出場  
『飛行機の真の発明家 二宮忠八について』  
満濃中学校2年 真鍋 佳乃



琴南小学校

## 編集後記

世界中の 希望のせて この地球は まわってる  
いま 未来の扉を 開けるとき ~♪

風に乗って空へと舞い上がる澄んだ歌声。曲は杉本竜一作詞・作曲の『ビリーブ』です。思わず一緒に口ずさんでしまったのは、その歌詞とメロディーに懐かしさがこみ上げてきたからに違いありません。

昨年11月、長崎の平和公園を訪れました。訪問は、およそ20年ぶりです。2019年に塗り直しを行い、鮮やかに変身した平和祈念像の前には、修学旅行生でしょうか、たくさんの子どもたちの姿がありました。学校ごとに集団で座り、像の前のスペースが空くのを待っています。像の前では二つの集団が、それぞれに平和を考える集会を行っていました。献花をしたり、誓いを立てたり、歌を歌ったり…。『ビリーブ』はそんな子どもたちの歌声だったのです。

たくさんの人々が行き交うざわめきの中にあって、そこだけは厳かでピンと張り詰めた空気が流れていました。すべての子どもたちの真剣なまなざしが、一心に祈念像に注がれています。

戦争の悲惨さや平和の大切さを身をもって知る世代が年々減少し、「語り部」と呼ばれる人たちの貴重な体験談を聞ける機会も少なくなりました。その日、晩秋には

珍しいほどの暖かな日差しの中、自分たちの順番が来るのをじっと待つ子どもたちの姿を見ながら、このような地道な取り組みこそが平和な未来に向かう力を育てていくんだろうと感じました。

修学旅行は、明治19年、東京高等師範学校が実施した房州（千葉県南部）方面への長途遠足が始まりだとされています。当時は多分に軍事教練的な意味合いを含んでいたようですが、その後、宿泊を伴い、観光しつつ学ぶ学校行事として定着していきました。

運動会は、明治7年、海軍兵学校で行われた「競闘遊戯会」から広まり、初代文部大臣森有礼が全国の学校に実施を義務づけたとされています。現在の運動会でも見られる「気を付け」「前へならえ」「全体前へ進め」などは、当時導入された「兵式体操」の名残だということです。

それぞれに独自のルーツを持つ学校行事。コロナ禍に陥ってからは、感染を予防しながら実施するため、伝統的に受け継がれてきた形を見直さざるを得なくなりました。このコロナ禍を乗り越えたとき、果たしてどんな形に落ち着くのでしょうか。今の時代に合致した価値ある学校行事とは——その最適な形と意義について考える、今が絶好のチャンスではないかと思います。

(Y. T)

表紙絵：山下 愛華（満濃中学校美術部2年）

次号予告  
（4月1日発行）

特集

園・学校ウォッチング

デジタル×アナログで 進化する学び

満濃中学校・満濃南こども園